

第4章 To不定詞

A. 名詞的用法

(～すること) と訳し、文中で主語・目的語・補語になる。

主語	To play is good.	遊ぶことはいいことです。
目的語	I like to play.	私は遊ぶことが好きです。
補語	My hobby is to play.	私の趣味は遊ぶことです。

B. 形容詞的用法

to不定詞が形容詞と同じく、後ろから前の名詞を修飾する。

名詞修飾	This is the book to read. これは <u>読むべき</u> 本です。
------	--

C. 副詞的用法

to不定詞が副詞と同じく動詞・形容詞・副詞・文全体を修飾する。

動詞修飾	He went to Tokyo to play. 彼は <u>遊ぶために</u> 東京へ行った。
------	---

第1節 名詞的用法

I 基本

「～すること」と訳し、文中では名詞と同じ働き（主語・目的語・補語）になる。

to + 動詞の元の形 (do) ～すること

(例)英語を勉強することはいいことです。

To study English is good. 主語

(= It is good to study English.)

(例)私は英語を勉強することが好きです。

I like to study English. 目的語

(例)私の望みは英語を勉強することです。

My hope is to study English. 補語

(例)ここにいることは大切なことです。

(例)私はここにいることを望みます。

(例)私の望みはここにいることです。

II to不定詞の主語

for A to do Aが～すること

(例)彼が英語を勉強することはいいことです。

For him to study English is good.

(例)私の望みは彼が英語を勉強することです。

My hope is for him to study English.

(例)彼女がここにいることはいいことです。

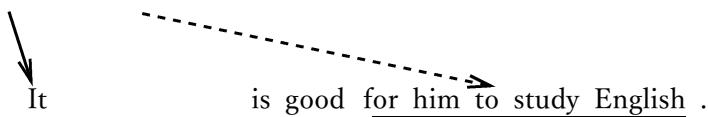
(例)私の望みは彼女がここにいることです。

III 仮主語・仮目的語の it

to不定詞が文全体の主語、または第5文型作為動詞の目的語だった場合には、to不定詞を文末に置き、その代わりに it を置くことができる。この it を仮主語・仮目的語のitと呼び、「それ」とは訳さない。

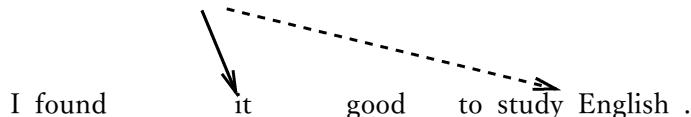
(例)彼が英語を勉強することはいいことです。

For him to study English is good.



(例)私は英語を勉強することはいいことだとわかった。

I found to study English good.



IV of A to do

for A to do が文全体の主語であり、補語の部分に人の性質・性格を表す形容詞を使用している文章で仮主語のitを使用した場合には、to不定詞の主語はfor A から of Aに変化する。

For A to do is 人の性質・性格

It is 人の性質・性格 of A to do .

$$\begin{cases} \text{careless 不注意} / \text{brave 勇敢な} / \text{foolish 馬鹿な} / \text{stupid 馬鹿な} \\ \text{wise 賢い} / \text{smart 賢い} / \text{honest 正直な} / \text{kind 親切な} \text{ etc.} \end{cases}$$

(例)彼がここにいることはいいことです。

For him to be here is good. \longrightarrow It is good for him to be here .

(例)彼がここにいることは勇敢なことです。

For him to be here is brave. \longrightarrow It is brave of him to be here .

(例)彼女があの本を読むことは大切なことです。

For me to go to America is important. \longrightarrow It is _____

(例)彼女があの本を読むことは馬鹿なことです。

For . \longrightarrow It is _____

V forの省略

for A to doを第三文型の目的語として使用した場合には、forは省略しなければならない。

(例)私は彼が英語を勉強することを知っている。

I know him to study English. (第3文型の目的語) →forは省略

s v o

参考① 彼が英語を勉強することはいいことです。

For him to study English is good. = It is good for him to study English. (主語)

s v c

参考② 私は彼が英語を勉強することがいいことだとわかった。

I thought for him to study English good. (第5文型の目的語)

s v o c (= I thought it good for him to study English.)

参考③ 私の望みは彼が英語を勉強することです。

My hope is for him to study English. (補語)

s v c

want A to do Aに～してほしい

tell A to do Aに～するように言う/命じる (= say to A , "Do～.")

tell A not to do Aに～しないように言う/命じる (=say to A , "Don't do～.")

ask A to do Aに～するように頼む (=say to A , "Please do～.")

(例)私は彼が英語を勉強することを望む (私は彼に英語を勉強して欲しい)

(例)私は彼にここに来るよう^に言いました。

I told him to come here. (= I said to him , "Come here.")

(例)私は彼に英語を勉強するよう^に頼んだ。

VI to do = doing

to不定詞名詞的用法は、動名詞と同じ働きをする。書き換えが可能。

- (例) To play is good. = Playing is good. (主語)
- (例) My hobby is to play. = My hobby is playing. (補語)

- (例) I like to play. = I like playing. (目的語)
- ✗ (例) I want to play. ✗ I want playing. (目的語)
私は遊びたい 私は遊ばれる必要がある。

to不定詞を動名詞で自由に書き換えできるのは、主語と補語として使用している場合だけ。

to不定詞を第3文型の目的語として使用している場合には、以下の3つに分類される。

- A. to不定詞のみを取る動詞
- B. 動名詞のみを取る動詞
- C. to不定詞・動名詞の両方取ることが出来る動詞
 - ①to不定詞・動名詞どちらでも意味が同じもの
 - ②to不定詞・動名詞で意味が異なるもの

A. to不定詞のみを取る動詞

want to do	～したい
wish to do	
hope to do	
decide to do	～することを決心する
determine to do	
decide that A will do	
make up one's mind to do	
afford to do	～する余裕がある
cannot afford to do	～する余裕がない
manage to do	なんとか～する
come to do / learn to do / get to do	～するようになる
expect to do	～することを予期する
agree to do	～することを同意する
fail to do	～することを失敗する
never fail to do	必ず～する
pretend to do	～するふりをする

(例) 彼はここに来ることを決心した。

He decided to come here.

He determined to come here.

He decided that he would come here.

He made up his mind to come here.

(例) 彼女は本を読むようになった。

She came to read a book. / She learned to read a book. / She got to read a book.

(例) 私はあなたに会うことを予期していませんでした。 I didn't expect to see you.

(例) あなたは何をするつもりですか What do you mean to do?

B. ingのみを取る動詞

mind doing	～することを気にする
enjoy doing	～することを楽しむ
give up doing	～することをやめる
go on doing (= keep on doing)	～し続ける
admit doing	～することを認める
avoid doing	～することを避ける
finish doing	～することを終える
escape doing	～することを免れる
postpone doing (= put off doing)	～することを延期する
stop doing	～することを止める
cannot help doing (= cannot but do / have no choice but to do)	～せざるを得ない
consider doing	～することをよく考える。
deny doing	～することを拒否する

(例)あなたはそこに行くことを気にしますか？ (=ここに来ていただけませんか)

Do you mind coming here ?

(例)私は本を読むことを止めた。

I stopped reading a book.

(例)彼は英語を勉強せざるを得ない。

He cannot help studying English. / He cannot but study English.

He has no choice but to study English.

(例)彼は走り続けた。

He went on running. / He kept on running.

C-1. to不定詞・動名詞両方使用できて意味が同じもの

begin to do	～し始める
begin doing	
start to do	
start doing	
like to do	～するのが好きです
like doing	
be動詞 fond of doing	
prefer to do	～するのが好きです
prefer doing	
cease doing	～するのを止める
cease to do	

(例)私は本を読むことが好きです。

I like to read a book.

I like reading a book.

I am fond of reading a book.

(例)彼は走り始めた

He began to run. / He began running.

He started to run. / He started running.

(例)彼女は泣くのを止めた。

She ceased to cry.

She ceased crying.

C-2. to不定詞・動名詞両方使用できて意味が違うもの

remember to do	(未来に) ~することを覚えている
remember doing	(過去に) ~したこと覚えている
forget to do	(未来に) ~することを忘れる
forget doing	(過去に) ~したこと忘れる
regret to do	(未来に) ~することを後悔する
regret doing	(過去に) ~したこと後悔する
want to do /want doing	~される必要がある (=need to be p.p.)
try to do	~しようと (努力) する
try doing	試しに~してみる

(例) 私を 6 時におこすのを忘れないでください。 Remember to wake me up at six.

(例) 私は彼と公園で会ったことを覚えている。 I remembered seeing him in the park.

(例) 私は彼に会おうとした。 I tried to see him.

(例) 私は試しに彼に会ってみた。 I tried seeing him.

(例) 私は遊びたい。 I want to play.

(例) 私は遊ばれる必要がある。 I want playing. (=I need to be played.)